



# THE LETTER 宇都宮東教室

第12号 毎日コツコツ

発刊日 2025年11月26日

文責 熊澤洋一

受験生になるので「塾に通うことにした」・・実際、どこの塾も中3「受験生」が大勢在籍しています。通塾をきっかけに成績を「爆上げ」する生徒もいれば、「そうでない」生徒もいます。その「成績」とは、目の前のテストなのか、入試なのか。

試験範囲の限定された「定期テスト」は一気に成績が伸びる可能性があります。またこれが自信につながり、その次も「自己ベスト」を更新していく好事例です。一方、「実力テスト」、「入試」は、1, 2年の内容が含まれるため成績改善には「積み残し」分も勉強しなければならないため、「時間」を要します。「積み残し量が多すぎる」と試験日までに間に合わない場合も…。「受験勉強」には苦戦する…「英語」はその代表格です。数学・理科のような単元に相関性のある科目と違い、単語や文法など、「覚えていること」・「知っていること」が大前提の問題に対応するにはあまりに多くの「事前準備」をするためです。「数学だけが唯一の得意科目だ」という生徒に強く見られる傾向もあります。「目の前の与えられた問題を解く」にあたって「考えればできる=賢い生徒」。しかし、「勉強する習慣」はないため「英語は無理」、「あまりにもやる事が多すぎて、何から手をつければいいかわからない」など「何も改善されないまま」の日々を過ごしているのが現実です。

早めの取り組みで、無理なくコツコツ積み上げていくことが目標達成の近道です。家庭学習も、たまには環境を変えて「塾の自習席」を利用してみることをお勧めします。そこには「自分より成績上位者」があり、「自分の知らないところで勉強しているんだ」と気づけます。一人ではできないことも「みんながいるから」できることもたくさんあります。冬期講習会、自習席など「塾の利用」には、抵抗のある方も、近所の方、ご友人を誘って気軽に参加されてみてはいかがでしょうか。